

WEEKLY REPORT

No.1630(第14回) 2023年1月11日(水) 点鐘:19時00分 於:大黒屋

例会:毎週水曜日 12:45~ 例会場:勇屋会館 事務所:安曇野市豊科 4312-6 奥村ビル2F

TEL:0263(73)2901 FAX:0263(72)3181 E-mail :azumirc@poppy.ocn.ne.jp

会長 笠原 明仁 幹事 下里 守

2022~2023年度 RI テーマ

『イマジン』~大きな夢をかなえたロータリーを想像して~

R.I 会長 ジェニファーE. ジョーンズ

クラブ標語【 着実に!一歩ずつ!! 】

月間【 職業奉仕月間 】



**IMAGINE
ROTARY**



- ★ 配布 ・幹事報告 No.14
・Rの友 | 月号・月信 | 月号
- ★ 国歌 ・君が代
- ★ ロータリーソング ・奉仕の理想
- ★ 会長挨拶 【 笠原会長 】

◇出席報告

会員総数 21 名 出席免除会員数 1 名	
本日の出席率	前々回(12月7日修正出席率)
出席者: 15 名	欠席者: 10 名
欠席者: 6 名	メキップ: 4 名
出席率: 75 %	出席率: 71 %



新年おめでとうございます。今年もよろしくお祈いします。笠原・下里年度も無事半期が終了いたしました。2月には創立記念夜間例会、3月には4クラブ合同夜間例会、4月には観桜会と夜の例会が続きますが、多数の会員の出席を

楽しみにしております。まだまだコロナも落ち着きませんが、経済活動も続けて行かなくてはなりません。それぞれの立場で健康に十分留意しながら 今年一年のご活躍を祈念申し上げます。今夜は時間の許す限り、大黒屋さんのお料理をお楽しみいただきたいと思ひます。最後にうなぎは2切 出ます!!

- ★ 幹事報告
【 下里幹事 】
別紙参照



★ ニコニコ BOX 報告

- 笠原: 今年もよろしくお祈いします
- 下里: あけましておめでとうございします
本年もよろしくお祈いします
- 藤森(康): 今年もよろしくお祈いします。
会場間違えました。やれやれ。
- 石田: 新年おめでとうございします。
本年も宜しくお祈いします。
- 三原: 本年もよろしくお祈いします。
- 小穴: 本年も宜しくお祈い致します。
- 場々: 新年を祝して
- 濱: 明けましておめでとうございします。
本年も宜しくお祈いします。
- 高木: 今年は穏やかな正月でしたね。
今年も体に気を付けて頑張りましょう。
- 二木: おめでとうございします。
- 飯田: 新年おめでとうございします。
本年も宜しくお祈いします。
- 丸山(慶): 新年明けましておめでとうございします。
本年も宜しくお祈い致します。
- 丸山(隆): 明けましておめでとうございします。
今年もよろしくお祈いします。
- 田野: 明けましておめでとうございします。久しぶりの参加ですみません。今年もよろしくお祈いします。

[計 14 件 38,000 円]



今年度のニコニコBOX

計 408,000 円

★本日のプログラム



【司会：藤森(康)親睦委員長】



【乾杯：小穴会長エレクト】



【締め：場々次期ガバナー補佐】



= ロータリーの友 2023年1月号 =

【特集】

・職業奉仕月間

☆ あなたが「つくっている」ものは？

☆ 第51回ロータリー研究会

【SPEECH】

☆ 人間とAIが共生する職業の近未来のカタチ

村山恵一さん

【この人訪ねて】

☆ 坂口茂樹さん

宮之城ロータリークラブ



RI 会長エレクトが 2023-24 年度 会長テーマを発表

記事 **Etelka Lehoczky**

サウス・クイーンズフェリー・ロータリークラブ（スコットランド）の会員であるゴードン R. マッキナリー国際ロータリー会長エレクトは、1月9日、米国フロリダ州オーランドで開催中のロータリー国際協議会で講演し、2023-24 年度会長テーマ「世界に希望を生み出そう」を発表しました。この講演でマッキナリー氏は、問題を抱える国で平和を推進し、紛争の影響を受けている人びとを助け、過去のリーダーたちが始めたイニシアチブを引き継いでいくよう会員に呼びかけました。また、世界の注目を集め、現在の期待をはるかに超える可能性を切り開いていくことを求めました。

「私たちの目標は、破壊的な紛争から世界が立ち直れるように、希望を取り戻すことです。そうすれば、私たち自身のために持続可能な変化をもたらすことが可能となります」とマッキナリー氏は述べました。

また、タイで出会った一人の女性の話を紹介しました。そこでは、2004 年末に南アジアを襲った津波の後で、ロータリー会員が家屋や集会場、保育・医療施設の建設にあたっていました。津波で夫、娘、息子を失くし、生計手段も失ったというその女性は、マッキナリー氏にある物をプレゼントしました。それは、美しい貝殻でした。

「彼女は、ロータリーのおかげで前向きな気持ちを取り戻すことができたと話していました。私たちは彼女に希望を与えたのです」とマッキナリー氏。「これこそ、ロータリーが世界にもたらしている変化です。この変化が、一つずつ希望を取り戻し、新たな希望を生み出しています」

平和の推進

世界に希望を生み出す重要な方法となるのは、平和に重点的に取り組むことだとマッキナリー氏は述べ、過去1年間、ロシア軍による侵攻を受けたウクライナの人びとを支援するためにロータリー会員が行動してきたことに言

及しました。ロータリーが人道的支援に力を入れたことで、ウクライナでのロータリー会員数は増えています。しかし、ウクライナだけでなく、イエメン、アフガニスタン、シリアをはじめ世界の多くの地域で平和が実現しない限り、本当の安らぎはないと指摘しました。

「平和とは、希望が根づくための土壌です」とマッキナリー氏。

継続の力についても強調し、過去のリーダーの取り組みを継続するよう会員に呼びかけました。自身も、シェカール・メータ 2021-22 年度会長が立ち上げた「女兒のエンパワメント」イニシアチブを継続し、ロータリー全体で多様性、公平さ、インクルージョンを強調し続けていくことを約束しました。また、ポリオ根絶への継続的な取り組みの重要性を物語る最近の一連の出来事にも触れました。過去 1 年間、世界各地でポリオ症例が再発しており、ロータリー会員がポリオ根絶活動をリードすることが今まで以上に重要となっています。

このため、ロータリーが毎年 5,000 万ドル以上を集め、ビル&メリンダ・ゲイツ財団からの 2 倍額の上乗せ資金を確保しなければならないとマッキナリー氏は話しました。現在、ポリオ根絶に寄付している会員は約 12 人に 1 人に過ぎず、毎年寄付しているクラブも 5 分の 1 を下回っています。

マッキナリー氏は、「ポリオのない世界」というロータリーのビジョンを実現するために、クラブの中に新たな緊急感を生み出すよう地区ガバナーエレクトの協力を求めました。「各年度に何をすべきかではなく、それを超えて考えるべき時が来ています。できるだけ早く実現するために必要なあらゆるリソースを、私たちが提供していかなければなりません」

メンタルヘルスへの取り組み

マッキナリー氏はさらに、新型コロナウイルスの世界的流行によって深刻化しているメンタルヘルスの問題の影響を受けている人たちに、ロータリー会員が希望を与えるべきだと述べました。多くの人が家族を失い、社会的つながりを断たれ、特に若い人たちの教育や育成が妨げられています。その結果、世界でメンタル

ヘルスの問題に直面する人が増えています。しかし、助けを求めることは弱さの現れであると考えられることが少なくありません。

「真実から目をそむけることはできない」とマッキナリー氏。「助けを求めることは勇気ある行動です。健康と幸せにいたる道を求めることは、さらに勇気が要ることです」

次年度以降、ロータリーはメンタルヘルスサービスの改善に取り組んでいくとマッキナリー氏は続け、ロータリーは会員と奉仕を受ける人の両方を支える組織として知られるべきだと述べました。「メンタルヘルスの専門家なら誰もが口をそろえてこう言うでしょう。ほかの人を助けることで、本質的に自分自身が助けられるのだ、と」

講演の最後には、継続と革新の理想的なバランスについて述べました。「ロータリーは、平和、機会、生きる価値ある未来の土台を築いています。私たちが得意とすることを継続すると同時に、変化に対してオープンで前向きになり、世界と自分自身の中に平和を築くことに力を注げば、ロータリーはより平和で、より希望のある世界を築く手助けができます」

